

武蔵野市学校施設整備基本計画中間のまとめ 意見一覧（他の委員会の所管となるもの）

項番	頁	該当部分	意見	取扱方針
他1	2	第1章 学校施設整備基本計画について 4 本市の学校施設をめぐる課題	施設一体型義務教育学校は、大規模化であり、広い敷地と多額の建設費用が見込まれると思いますが、いかがなものでしょうか。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他2	3	第1章 学校施設整備基本計画について 4 本市の学校施設をめぐる課題 《施設一体型義務教育学校として建築する場合》	施設一体型小中一貫校では十分な運動施設の確保ができない可能性があり、そのさい校舎不設置校地の活用を検討するとあるが、現実的ではありません。たとえその校地が近隣だったとしても、校地間移動は大変なタイムロスになります。校地内に十分な運動施設の確保ができないのであれば、施設一体型小中一貫校なんてはなから計画すべきではありません。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他3	3	第1章 学校施設整備基本計画について 4 本市の学校施設をめぐる課題 《施設一体型義務教育学校として建築する場合》	前項（No.22）の定義で学区は決まります。校地も変更はないので既にある程度のシミュレーションができると思います。どの時点で市民に公表できますでしょうか。新しい学校のイメージづくりに役にたつと思います。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他4	4	第1章 学校施設整備基本計画について 4 本市の学校施設をめぐる課題	共同調理場施設の建て替えについて「都市計画の用途地域による建築制限の課題がある」としているが、本当に必要な施設ならば、境浄水場のように、多少は建築制限の緩和をしてはいかがでしょうか。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した学校給食施設検討委員会へ申し伝えました。
他5	9	第2章 学校施設整備に向けた考え方 2 学校施設整備に向けた考え方 (3) -① 学校・家庭・地域の連携協力	施設の計画は小中一貫教育の検討結果が大きく反映されます。「施設の計画は…参画により策定します」とあるので、小中一貫教育についても多くの人を巻き込んで議論すべきではないでしょうか。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他6	15	第3章 計画・設計の具体的条件 2 各諸室等の配置（ゾーニング） (4) 放課後ゾーン ○地域子ども館	地域子ども館を校地内に置いたまま、施設一体型小中一貫校の計画をたてることに無理があると思います。今後、共働き家庭の増加や、「子ども・子育て支援新制度」によって小学校6年生までが学童クラブ利用の対象になったことを考えると、学童クラブ教室部分は相当な余裕が必要になると思います。また、安全な遊び場の減少を考えると、あそべえの場所の確保も必要になります。学校規模を小中あわせた上に、学童クラブ・あそべえの場所の確保をすると、校地いっぱい校舎を建てる必要がでてくるのではないのでしょうか？現在の校地周辺の環境を考えると、建築を上へのばすというのも現実的ではありません。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他7	参考資料	共通	二つの文書とも全体的に文章が難読化されているところがあります。特に図直の○(しろまる)以降の一文は悪い例です。この文の述部は「高い効果が得られると考える」です。ところがこの文の前半では述部と全く関係の無いことを書かれています。そして高い効果が得られるのは何なのかが不明です。また、「考える」と書くからにはその根拠も示されないと「考える」が意味がありません。	ご意見として承ります。
他8	参考資料	共通	この文書は意見書ではなく議論の前提になるものなので、希望や意見を記述すべきではありません。「事実と意見」で検索すればたくさん検出されます。「方向性を定めていきたい」、「望ましいと考える」、「高い効果が得られると考える」などの表現は意見です。	ご意見として承ります。
他9	参考資料	武蔵野市小中一貫教育研究調査ワーキングチームにおける論点整理	平成29年3月7日文教委委員会で委員からの「ワーキングチームに関しては、すごい、教育を語る割にはやはり職員率が高いというか、ほとんど職員ではないかという気がしています」との指摘に同意します。そのようなチーム(教育部長・教育企画課長・指導課長・統括指導主事・教育支援課長・生涯学習スポーツ課長)がまとめた論点整理をもとに、今後の学校施設のあり方や、小中一貫校導入の是非、はては小・中学校制から義務教育学校制を導入のたたき台にしてしまうのは、問題があります。子どもを実験台にしないでください。	ワーキングチームでの検討においては、教育委員との複数回にわたる懇談及び市立小中学校校長へのヒアリング等の課程を経て、その結果を論点整理のペーパーとしてまとめております。そのうえで今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会は市職員のほか学識経験者、市立小中学校校長、市立小中学校PTA代表者、関係団体の代表を委員としております。
他10	参考資料	武蔵野市小中一貫教育研究調査ワーキングチームにおける論点整理	「これからの武蔵野市の学校教育に求められる目的」「武蔵野市の子どもたち(未来)」「これからの武蔵野市の学校教育に求められる目的」、どこを読んでも、従来の小中連携教育の推進ではなく、小中一貫教育にしなければならない理由が見当たりません。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他11	参考資料	武蔵野市小中一貫教育研究調査ワーキングチームにおける論点整理	そもそも「小中一貫教育」と「小中連携教育」の違いを定義づけしないと、議論に混乱を生むと思いますが？	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。

項番	頁	該当部分	意見	取扱方針
他12	参考資料	武蔵野市小中一貫教育調査研究ワーキングチームにおける論点整理	「これからの武蔵野市の学校教育の目指すべき方向性を検討し、」検討材料とその評価はどのようなものだったのか、公表されるべきです。その結果はどうだったのでしょうか。(a)小中一貫教育を進めるべきだったのでしょうか、(b)どちらか判断できなかったのでしょうか。(b)だとするとこの文に続く「その上で、」以降は、小中一貫教育を行う点についてのみ触れているのは不十分です。一方、中間のまとめには「小中学校別改築の場合」も検討されています。二つの文書間で一貫していないようです。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他13	参考資料	武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方	「小中一貫教育を実施する場合は、現行の小学校区を基本とする施設一体型の義務教育学校として実施することが望ましいと考える」とあるが、4・3・2制の導入以外、義務教育学校でなければ小中一貫教育をできない理由が見当たらない。しかも、4・3・2制については「中一ギャップ」も否定され、教育効果も明らかになっていないのに、わざわざ小・中学校制から変えてまで導入しなければいけない理由がわかりません。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他14	参考資料	武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方	図左上について、「よりよい」の評価方法は、どのような結果が出て、どう判断したのでしょうか。良い・悪いの判断にはそれが必要です。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他15	参考資料	武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方	図右上について「つながり」までは言えますが、「発展」は希望でしかありません。前者は事実、後者は意見です。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他16	参考資料	武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方	図右下について、地域(誰)も働かないといけないのでしょうか。無償ですか？	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。
他17	参考資料	武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方	図左下について、第2校地を設置しなければ9年間の教育活動を保障できないのでしょうか。	ご意見として承り、今年度に教育委員会が設置した小中一貫教育検討委員会へ申し伝えます。